

専門医の数
(小児科・産婦人科・救急)
政令市

第1位

※「令和2年医師・
歯科医師・薬剤師統計」
(厚生労働省)

動物園数
全国市区町村

第1位

※文化庁登録
博物館一覧より

SUUMO
住みたい街ランキング
2024 首都圏版

「横浜」駅 7年連続

1都4県
総合1位

※リクルート調べ

身近な公園数
全国

第1位

※横浜市調べ
※市民の身近にあり、
日常的に利用される公園
(住区基幹公園)

2,580
カ所

学術・研究開発機関の
事業所数

政令市

第1位

※「令和3年
経済センサス活動調査」
(総務省統計局)

病院数
首都圏

第1位

※「令和4年医療施設調査」
(総務省統計局)

放課後の
児童預かり所数

政令市

第1位

※「こども家庭庁調査」

スポーツ環境の
充実度

全国106都市

第1位

※「スポーツ環境」に関する都市ランキング
(令和4年 野村総合研究所)をもとに
横浜市が作成
(政令市、中核市、県庁所在市、
施行時特例市)

中学生の英語力
政令市

第2位

※「令和4年度
英語教育実施状況調査」
(文部科学省)

Yokohama Ranking

ランキングで
紐解く

子育てしやすい街 横浜大解剖



マンションのスペシャリストに聞く

家族で住みたくなる街

「横浜」の知られざる魅力



福岡由美 YUMI FUKUOKA

#住宅ローンアドバイザー
#FP技能士

東京と名古屋に拠点を置き、取材実績は2000物件以上。住宅情報媒体でのレポート執筆、不動産コンサルティング、各種セミナー等、全国で取材を行う住宅ジャーナリストとして活躍中。「女性のためのマンション購入セミナー」などの講師も務める。

TOPICS
1

住みたい街ランキング7年連続1位！
特に子育て世帯の評価が上昇中

見事、7年連続で「住みたい街(駅)1位」に輝いた横浜。「魅力的な職場が多い」「文化・娯楽施設が充実」といった都市の先進性に加え、「海・山に近い」自然の豊かさも評価につながっています。特に子育て世帯の評価が大きく上昇しており、昨年から始まった中学生までの医療費無償化や子どもの預かりに使えるクーポン等の施策が功を奏したと言えるでしょう。横浜市の調査では「子どもを安心して育てられる街」としての期待が大幅アップするなど、ソフト面においても評価が高まっています。



SUUMO
住みたい街ランキング
2024 首都圏版
「横浜」駅 7年連続
1都4県
総合1位
※リクルート調べ

横浜駅(駅前)

TOPICS
2

“ご近所公園”の数が全国1位
大小さまざまな緑が身近に

横浜市では0.3ha以上の住宅開発を行う際に区域の6%以上を「公園または緑地」とする基準を定めています。全国的には3%以上としている自治体が多いため、この点からも意欲的に公園等の設置を進めていることがわかります。実際に横浜市の「身近な公園(住区基幹公園)」の数は全国で1位。こうした“ご近所公園”の存在は子どもたちが安心して遊べる場所の確保につながるほか、自然体験ができる大規模な公園も充実。大小さまざまな緑が身近にあり安らぎや心地よさを感じる効果も期待できます。



身近な公園数
全国
第1位
2,580カ所
※横浜市調べ
※市民の身近にあり、日常的に利用される公園(住区基幹公園)

美しが丘公園

TOPICS
3

学術・研究開発機関が充実！
学び系の体験施設が市内各所に

東京都心や羽田空港に近接し、新幹線で西日本にも直結する横浜には、グローバル企業の研究開発拠点が集積。「学術・研究開発機関の事業所数」と「技術者・研究者の数」は政令市で1位になっています。これは筆者の私見ですが、横浜は観光地としての知名度の高さから企業関連の学習施設やテーマパークも多く、子どもの知的好奇心を育む機会が充実。商業・観光・文化など多彩な業種が集まることで雇用が充実する上、働き方の自由度を高めることができる点も魅力です。



学術・研究開発機関の
事業所数
政令市
第1位
※「令和3年
経済センサス活動調査」
(総務省統計局)

ムラーボ！
子ども向け科学体験施設Mulabo! (村田製作所)

TOPICS
4

中学生の英語力 第2位(政令市)
市をあげてグローバル教育を推進中

横浜市では全市立小中学校[※]にAET(英語指導助手)を配置し9年一貫の英語教育を実施。令和5年度からは市内外国人宅で短期ホームステイを行う「はまっこ留学」をスタートするなど多言語交流や異文化体験の機会にも恵まれています。こうしたグローバル教育の成果を受けて、英検3級相当以上の英語力を持つと思われる中学3年生の割合が約66%(全国平均約49.2%、文科省調査)となり政令市2位に。国際性を伸ばす教育の場としても充実した環境が整っています。

※一部の特別支援学校を除く



中学生の英語力
政令市
第2位
※「令和4年度
英語教育実施状況調査」
(文部科学省)

Image photo

市内全域がまるでテーマパーク!!
横浜の遊べる学べる体験マップ

家族で行きたい、緑と多彩な公園特集

**さいかちど
大塚・歳勝土遺跡公園**

弥生時代の遺跡を歴史公園として整備した公園で、園内の都筑民家園では「親子・子ども茶道講座」等のイベントが体験できる(予約制)



写真提供:横浜市歴史博物館

ポートサイド公園

「横浜」駅東口の貴重なオープンスペースとして親しまれている水際公園。「アート&デザイン」をテーマとするプロムナードが整備されている



(C)横浜観光情報

野毛山動物園

1951年から市民に愛され続ける動物園。入園無料も嬉しい親子に人気のお散歩コース



山下公園

2030年に開園100周年を迎える、横浜を代表する臨海公園。バラ園や歴史、童謡と関わるスポットなど見どころがたくさん



フォレストアドベンチャー・よこはま (ズーラシア隣接)
← YAMATO

**にいほる
新治市民の森**

横浜の原風景ともいえる里山の景観が残されている。生きもの観察や散歩におすすめ



写真提供:NPO法人新治里山「わ」を広げる会

舞岡公園

市内でも残り少なくなった、昔ながらの田園風景の中、農体験や自然観察が楽しめる、横浜の“里山体験スポット”



写真提供:舞岡公園 小谷戸の里



海の公園

横浜で唯一の海水浴場をもつ公園で、潮干狩り等海辺のレジャーを楽しめる



小柴自然公園

横浜で初めてのインクルーシブ遊具広場がある、約55.8haの大型パーク ※現在は第1期エリアのみ開園



〈PR〉



MESSAGE FROM RESIDENT
横浜で
体験型の子育てを
楽しむ家族



都筑区在住
Nさん
5人家族



体験へのアクセスが抜群。
“遊びながら学ぶ”が叶う環境。

横浜に住んで感じた魅力はとにかく“自然の遊び場が近くて多い”ということ。都筑区に住んでいるのですが、「こどもの国」、「四季の森公園」、「よこはま動物園ズーラシア」、「フォレストアドベンチャー・よこはま」等、車で30分もあればスケールの大きな自然体験ができます。市内には「新治(にいほる)市民の森」のような元々あった森が保全されているエリアがいくつもあって、

カブトムシがいたり、都会でありながら身近に豊かな緑の環境が残されていて、虫やどんぐりを探したり、木々を遊び道具にしたり、自然の中で考える遊びができるというのは、子育てをする上でとても魅力的ですね。



この「新横浜公園」はさまざまなスポーツ施設からドッグランまであり、とても人気のある公園で、日産スタジアムが併設されていることから、サッカーの聖地のよ

うな場所なんです。横浜はサッカーの習い事が盛んで、プロや代表戦の観戦機会も多いですし、サッカーを頑張りたい家庭にもおすすめです。

最近ではオンラインの動画視聴やゲームのやりすぎなどが問題視されていますが、サッカーやキャンプ、昆虫観察等、都会ながらも“ゲームより面白いものがある”環境は横浜ならではの魅力だと思います。

※写真5点新横浜公園で撮影

YOKOHAMA CITY NEWS

暮らしの魅力を伝える
「横浜移住サイト」

充実した子育てサポート、自然環境、交通利便性、エンターテインメントの豊富さなど「横浜ならではの暮らしの魅力」に加えて、住み替えに関する補助金や乳幼児の一時預かりなど、暮らしを支える制度を分かりやすく紹介しています。



横浜移住サイトはこちら



中学3年生までの医療費が無料

所得に関係なく、0歳から中学3年生までの子どもの医療機関等での保険診療の自己負担額が無料です。

子育て世代の省エネ住宅への住替えを支援

子育て世代の省エネ住宅への住替え費用をサポート。太陽光発電設備と蓄電池等を設備した場合、最大150万円を補助。予約は2024年春頃開始予定。

[横浜 省エネ住宅](#)



令和8年4月から
「みんなで食べる中学校給食」スタート

市立中学校で“全員給食”が、令和8年4月からスタート予定。市の専任の栄養士がつくる食事で、子どもたちの成長を支えます。